

事業所名 PONY

支援プログラム(参考様式)

作成日

2025 年

3 月

31 日

法人(事業所)理念	そのひとりの"きらめく個性"を、夢や希望につなげていく		
支援方針	私たちは、発達が気になるお子さまにSST(ソーシャルスキルトレーニング)を専門とした、療育サービスを提供しています。お子様、保護者に向き合い、関係機関と連携を取りながら未来に繋げていきます。		
営業時間	火曜日 から 土曜日	9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然・動物との共生体験 動物の生態や習性に触れながら、命の大切さや環境保護の意識を育む(例:馬の体温調節のため暑さ対策を考える)。野菜農園では、土壌づくりから収穫までを体験し、食物連鎖や持続可能な資源活用を学ぶ。</li> <li>■施設内外の環境整備への参加 動物の生活空間(厩舎・牧場)の清掃を通じて、環境維持への責任感を養う。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>■動物のお世話を通じた身体活動 厩舎や馬場の掃除、餌やりなどで適度な運動を行い、基礎体力や運動機能を育む。乗馬プログラムでは、バランス感覚や体幹の強化を図るとともに、成功体験を通じて心身の自信を養う。</li> <li>■広い土地での運動 動物と一緒に走る、追いかけるなど、自然な形で運動を促進し、ストレス発散や体力向上を支援。</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■非言語的表現の尊重 動物との触れ合い(撫でる、抱きしめるなど)で、言葉以外の方法で感情を表現する力を伸ばす。</li> <li>■創造的活動 動物や農園をテーマにした絵を描く、収穫野菜を使った簡単な調理体験を行い、自己表現の多様な形を体験。乗馬後の「どう感じたか」を身体表現や簡単なダンスで共有するプログラムを実施。</li> </ul>	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>■動物を題材にしたコミュニケーション 絵カードや絵本を使い、動物の気持ちを想像しながら「優しい声かけ」「指示の伝え方」を練習。活動の振り返りで「馬が嬉しそうだった」「犬が走るのが速いね」など、気づいたことを言葉で表現する機会を設ける。</li> <li>■グループ内での対話促進 野菜の育て方や動物の世話方法を話し合うことで、質問・回答・意見表明のスキルを向上させる。</li> </ul>	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■動物を介したソーシャルスキルトレーニング 3~5人の小グループで動物のお世話(餌やり、掃除など)を行い、協力・役割分担・順番待ちなどの社会性を学ぶ。乗馬時には「馬とのパートナーシップ」を重視し、信頼関係の築き方を体感する。</li> <li>■共同作業による仲間意識の醸成 野菜農園の共同管理(水やり、収穫)や、収穫した野菜を動物にあげる活動を通じて、他者と協働する喜びを体験。</li> </ul>	
家族支援	お子さまへの関わり方を学ぶ機会の提供(例:親子乗馬など)、個別の相談支援の実施など	移行支援	園・学校等への本児の発達や特性に関する情報提供、進級・進学先への情報提供や相談援助など
地域支援・地域連携	園・学校等との情報交換や相談援助、地域の福祉施設・医療機関等との連携など	職員の質の向上	週1で、事例に基づいた支援者研修の実施。 外部研修への参加など
主な行事等	季節ごとのプログラム活動		